

# 柏崎市の環境

—令和元(2019)年度版—



柏崎市

# 柏崎市の環境 目次

## 【柏崎市環境基本計画第2次計画編】

### 第1章 柏崎市の概要

#### 第1節 概 要

1 位置及び地勢…………… 2

2 人口・世帯…………… 3

#### 第2節 土地利用その他に関する現状

1 河川及び海岸…………… 4

2 土地利用及び再生可能エネルギー…………… 5

### 第2章 柏崎市環境基本計画 第2次計画 10年間のまとめ

基本目標1 地球温暖化対策に取り組むまちづくり…………… 6

基本目標2 資源循環型のまちづくり…………… 11

基本目標3 人と自然が共生した潤いのあるまちづくり…………… 13

基本目標4 環境汚染のない安心して暮らせるまちづくり…………… 14

基本目標5 市民参加・協働による環境に配慮したまちづくり…………… 18

基本目標ごとの実施した事業（平成30（2018）年度）…………… 20

## 【柏崎市地球温暖化対策実行計画編】

第1章 区域施策編（市域の温室効果ガス排出量）…………… 30

第2章 事務事業編（市の事業からの温室効果ガス排出量）…………… 35

## 【環境マネジメントシステム（かしエコ）編】

1 柏崎市の取り組み…………… 36

2 組織図…………… 36

3 環境取組方針…………… 37

4 環境目標…………… 38

5 実績…………… 39

6 その他の実績…………… 41

7 市の事業におけるこれまでの環境活動の評価…………… 42

# 【柏崎市環境基本計画第2次計画編】

## 第1章 柏崎市の概要

### 第1節 概要

#### 1 位置及び地勢

##### (1) 位置・面積・地形等

新潟県のほぼ中央に位置する柏崎市は、日本海に面した42kmに及ぶ長い海岸線を持ち、米山をはじめ、黒姫山、八石山、西山連峰を有しています。

市の主たる河川は鵜川、鯖石川、別山川の3河川です。この河川の下流域には柏崎・刈羽平野が開け、水田地帯を形成しています。

#### ア 市の位置・広ぼう・面積等

位置		広ぼう		面積	海岸線
東 経	北 緯	東 西	南 北		
138° 33' 43"	37° 22' 8"	27. 40km	40. 20km	442. 03 km <sup>2</sup>	約 42km

#### イ 位置図



## (2) 気 象

### ア 年別気象状況の推移 (5年間)

年 度	気 温 (°C)			風速 (m/s)		年 間 降 水 量 (mm)	年 間 降 雪 量 (cm)	湿度 (%)			天気日数 (日)			
	最高	最低	平均	最大	平均			最高	最低	平均	晴	曇	雨	雪
26	35.2	-5.3	13.6	30.4	2.3	2,274.0	293.0	97.7	13.0	76.6	114	170	53	28
27	38.8	-2.9	14.3	31.6	2.2	1,741.0	63.0	97.7	14.1	77.9	129	161	55	20
28	37.0	-5.1	14.5	31.3	2.0	1,958.0	238.0	97.7	5.0	76.9	123	159	59	25
29	38.6	-3.1	13.7	29.0	2.4	2,354.0	133.0	98.0	15.8	78.7	109	177	63	16
30	38.7	-5.3	14.5	29.3	2.2	2,141.0	333.0	98.0	17.5	79.5	129	149	63	24

※観測場所・消防本部

※各年1月1日から12月31日まで

## 2 人口・世帯

### (1) 5年度間の人口・世帯数

参考：事務報告

年 度	人 口	世 帯
平成27年3月末	87,857	34,617
平成28年3月末	86,813	34,726
平成29年3月末	85,776	34,758
平成30年3月末	84,671	34,817
平成31年3月末	83,504	34,800

### 柏崎市の環境政策① <sup>エコッ</sup>EC02プロジェクト

柏崎市独自のこのプロジェクトは、事業者が活動した環境活動に対して、EC02ポイントを付与し、事業者は貯めたポイントを温暖化対策機器の購入などに活用できる制度です。

参加登録事業者約240社と共に今後も挑戦し続けます。



## 第2節 土地利用その他に関する現状

### 1 河川及び海岸

#### (1) 河川

本市の河川は、治水施設の根幹をなす鯖石川、鵜川を含め、全部で521河川あります。洪水から市民の生命と財産を守るために、積極的に河川改修を図るとともに、河川環境の保全に配慮した多自然型川づくりを推進しています。

#### ア 河川数

参考：市勢概要

区分	一級	二級	準用河川	普通河川
河川数	2	55	5	459
延長(km)	8.65	225.22	8.06	551.0

※延長は他市町村にわたる部分も含む

#### (2) 海岸

本市は、42kmに及ぶ長い海岸線を有しており、海岸保全区域の指定を、国土交通省(19,665m)と水産庁(4,839m)から受けています。保全区域以外の海岸は一般公共海岸です。

#### ア 海岸保全区域（国土交通省所管分）

参考：市勢概要

地区名	延長(m)	備考
石地地区海岸	330	海岸法
椎谷・大崎・石地地区海岸	4,550	〃
椎谷・宮川・荒浜地区海岸	4,900	〃
荒浜地区海岸	2,378	〃
鯨波地区海岸	942	〃
西鯨波地区海岸	444	〃
青海川地区海岸	700	〃
笠島・上輪新田地区海岸	1,755	〃
上輪地区海岸	630	〃
米山地区海岸	1,000	〃
鵜川右岸地区海岸	936	港湾区域
鯨波地区海岸	1,100	〃

#### イ 海岸保全区域（水産庁所管分）

地区名	延長(m)	備考
椎谷地区海岸	194	
荒浜・松波地区海岸	3,610	
石地地区海岸	1,035	

## 2 土地利用及び再生可能エネルギー

### (1) 土地利用の現況

本市は、昭和 25 年に上米山村を合併してから、周辺町村と合併し、現在総面積は 44,203ha となっています。

地目別の土地利用状況をみると、全市の 66.0%は森林原野で占められており、耕地は 11.5%、宅地は 4.7%となっています。

### (2) 再生可能エネルギー

#### ア 再生可能エネルギー導入件数（対象施設：公共施設、事業施設）

参考：新潟県産業労働観光部資料より

区 分	件 数	備 考
太 陽 光 発 電	36	売電も含む
木 質 ペ レ ッ ト ボイラー・ストーブ	15	木質ペレットボイラー 3件 木質ペレットストーブ 12件
風 力 発 電	5	売電も含む
雪 エ ネ ル ギ ー	1	空調に利用
中小水力エネルギー	1	浄水場にて発電
地中熱エネルギー	4	保育園や消防署で空調などに利用
廃棄物熱利用	1	クリーンセンターにて暖房等に利用
汚泥消化ガス発電	1	自然浄化センターにて電力利用
B D F	3	各施設にて電力や燃料として利用
計	67	

### 柏崎市の環境政策②再生可能エネルギーの導入

再生可能エネルギーを有効活用したまちづくり実現のため、公共施設に対して再生可能エネルギー設備の設置を積極的に進めています。

太陽光発電設備など再生可能エネルギーを導入した第五中学校→



## 第2章 柏崎市環境基本計画 第2次計画 10年間のまとめ

計画期間：平成 21（2009）年度～平成 30（2018）年度

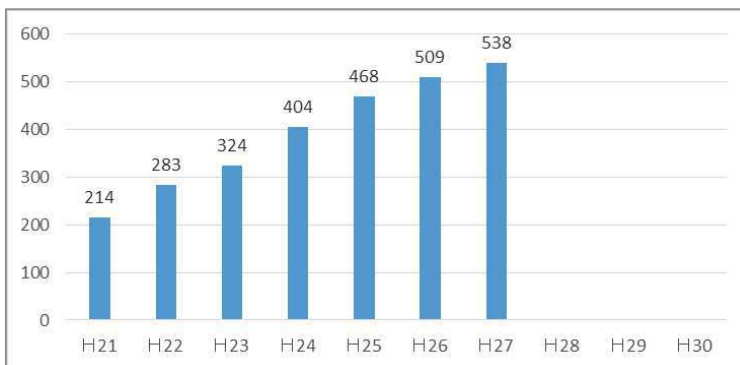
基本理念：健全で恵み豊かな環境を保全し良好な状態で将来世代に継承する

### ●基本目標1 地球温暖化対策に取り組むまちづくり

#### 【住宅用太陽光発電設備普及件数】（単位：件）（累計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
214	283	324	404	468	509	538	-	-	-	590

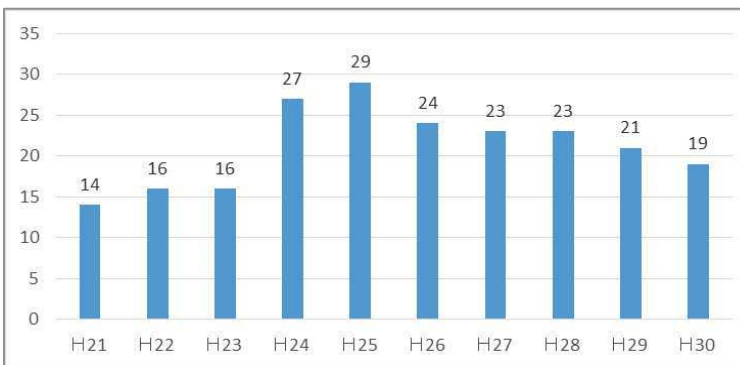
電力会社から提供される情報により、市内の住宅用太陽光発電設備件数を把握していたが、H28年度に電力自由化がスタートしたことに伴い、電力会社から情報が提供されなくなった。H27年度時点では目標値には届いていないものの順調に推移していたことが分かる。



#### 【環境経営システム等取得事業所数】（単位：社）（累計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
14	16	16	27	29	24	23	23	21	19	40

市内のエコアクション 21 取得事業者の社数を掲載している。数値は減少傾向だが、環境経営システムは ISO やエコステージなどもあるため、市内全部を網羅しているものではない。本市も H30 年度に認証を終了したが、認証取得セミナーなどで事業者等に対し引き続き支援していく。



#### 【ライトダウンキャンペーン参加世帯数】（単位：世帯）（年度計）

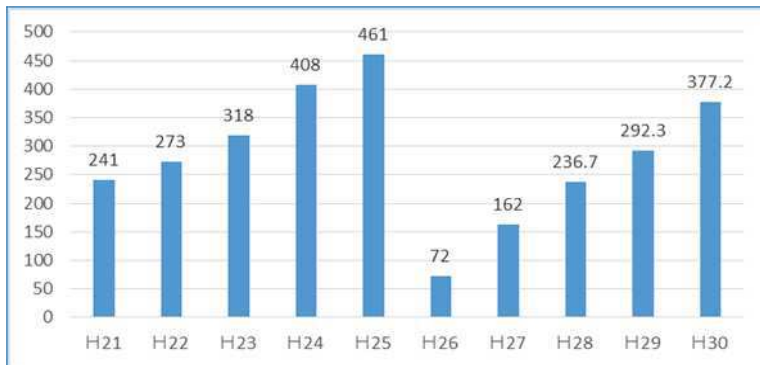
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
244	143	17	-	-	-	-	-	-	-	-

事業者と家庭を対象に、指定した 2 日間の午後 8 時から 10 時に消灯を呼び掛けるイベントだったが、東日本大震災に端を発する節電意識の高まりにより、2 日間の照明自粛キャンペーンでは効果が薄いと判断し、H23 年度に終了した。H24 年度からは一定期間節電を行う市民節電モニターを開始した。

**【造林事業面積】**（単位：ha）（累計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H32
241	273	318	408	461	72	162	236.7	292.3	377.2	628

下草刈りや伐採なども含め、人の手が入った森林面積の数値を累計で示している。H26 年度に数値が少なくなっているのは、新しい区画を造林地として新たに設定したためである。目標年度や目標値は農林水産課が管理している数値を参考にしている。



**【植樹祭活動での累計植樹・育樹本数】**（単位：H21～H25 は㎡、H26～H30 は本）（年度計）

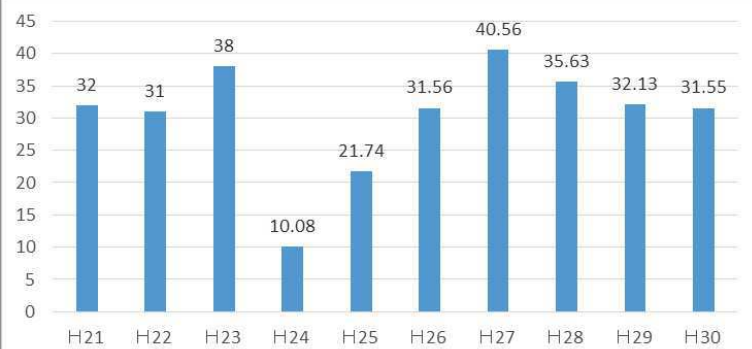
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
15,100	13,100	14,300	15,900	19,200	271	327	327	427	427	300

H26 年度の見直しの際に、面積から本数に目標単位を変更している。植樹については目標値を超えることができた。今後は植樹後の育樹についても大切となってくる。木の種類はケヤキ、ブナ、コナラなど。

**【下水汚泥等のコンポスト生産量】**（単位：t）（年度計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
32	31	38	10.08	21.74	31.56	40.56	35.63	32.13	31.55	40

集落排水処理場 3 か所において、し尿汚泥等の処理を目的にコンポストを作製。発酵や熱分解により肥料化を行った。H27 年度以外に目標値を超えることはなかったが、毎年度 30 t 前後で安定している。H24、H25 年度は機器の故障により稼働ができず目標を大きく下回った。



**【木質ペレット燃料使用量】**（単位：t）（累計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
350	500	590	600	614	621	626	635	641	645	1000

本市で実施しているペレットストーブ購入補助金の交付状況から算出している。事業者の使用等は含まれていない。累計値であるため増加はしているが、目標値には及ばなかった。



**【エコドライブ 10 実施者数】**（単位：回、人）（年度計）

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
回数	-	-	-	-	-	2	3	5	5	2	50
人数	-	-	-	-	-	600	620	710	690	266	1000

H26～H29 年度は、安全運転指導者講習会の際にエコドライブについて説明した回数、人数を掲載。H30 年度からは、ECO2 プロジェクトの対象行動であるノーマイカーウィークにエコドライブモニターを盛り込むことで、より効果的に実践されている。H30 年度は 43 社が参加。

**【全市ノーマイカーウィーク実施者数】**（単位：社、人）（年度計）

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
社数	54	68	155	152	164	143	125	117	115	106	170
人数	1,977	1,851	5,133	4,884	5,497	4,308	5,212	5,418	3,891	5,131	5,500

H23 年度から ECO2 プロジェクトの対象行動にしたことで、参加社・人数共に増加した。それ以降毎年度変化はあるものの、一定の認知がされている。H30 年度からはノーマイカー通勤が困難な方のためエコドライブ実践期間としても実施している。



**【路線バス及び他の生活交通機関による人口カバー率】**（単位：％）（年度計）

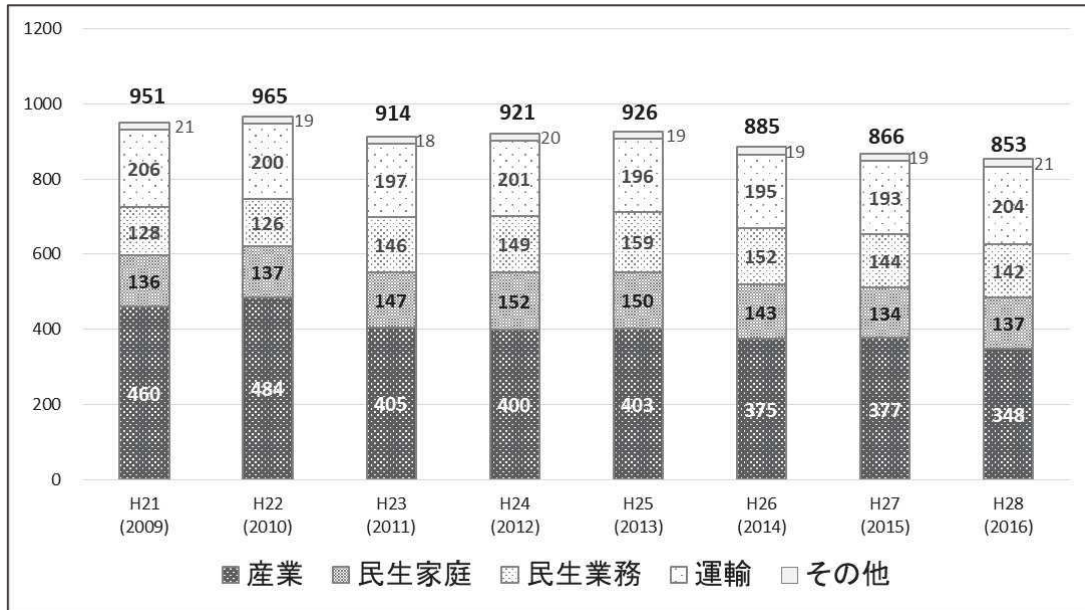
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
81.3	83	84.5	84.6	84.6	84.6	84.6	84.6	84.6	84.6	85.0

人口における周辺地域の生活交通機関カバー率を算出している。  
バスの路線について、減便などはあるものの、路線数は維持している。

**【市内からのCO<sub>2</sub>総排出量】**（単位：t-CO<sub>2</sub>）※最新値 H28 年度（年度計）

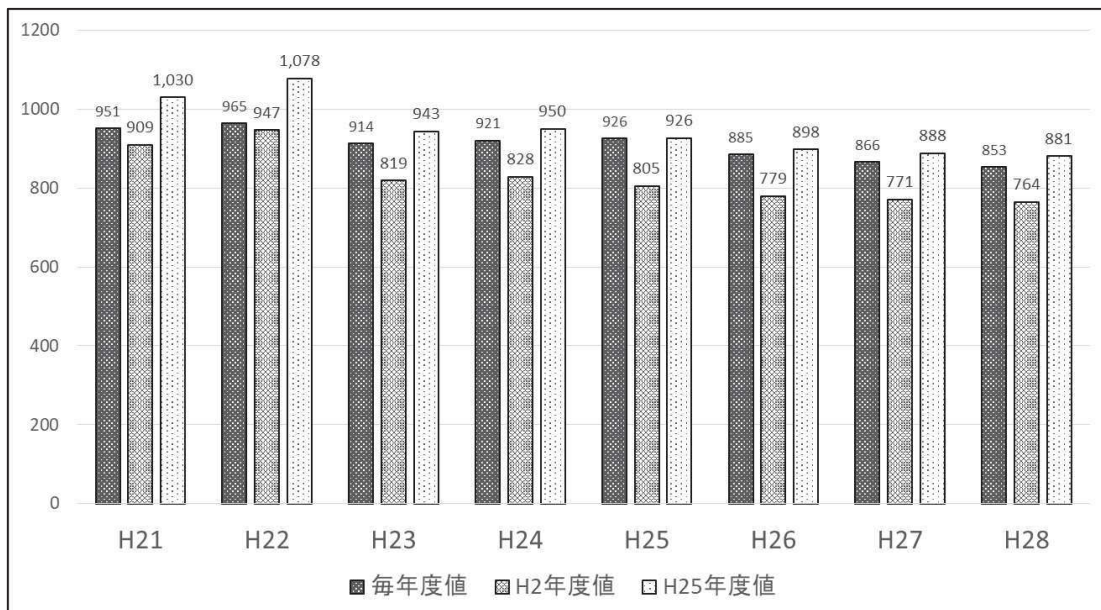
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	目標 H28	目標 R4
951	965	914	921	926	885	866	853	741	682

柏崎市域の各分野の活動から排出された二酸化炭素の量の推計値を掲載している。排出量の推計に用いる都道府県エネルギー消費統計の算定方法が H26 年度に大きく変更したため、目標値算出時との比較ができなくなりました。当時の目標に届くことはなかったが、全体としては微減していることが分かる。これらの数値は推計値であり、当該年度の市や事業者の取組が直接反映されるものではないものの、温暖化対策実行計画を中心に引き続き推進していく。



**【参考：電力のCO<sub>2</sub>排出係数を統一した場合】**（単位：t-CO<sub>2</sub>）（年度計）

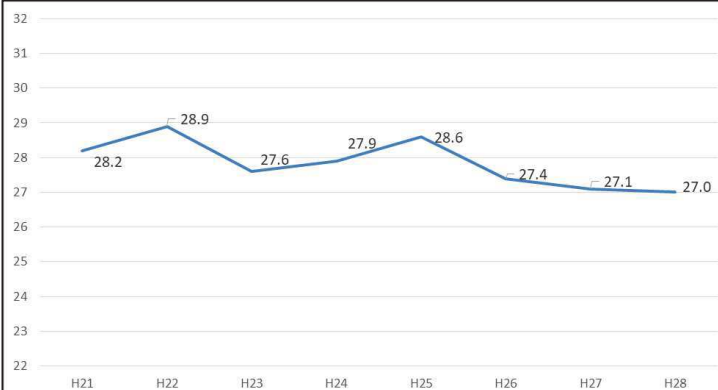
	排出係数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
H2 年度値	0.403	909	947	819	828	805	779	771	764
H25 年度値	0.591	1,030	1,078	943	950	926	898	888	881



**【1人1日CO<sub>2</sub>排出量】**（単位：kg）（年度計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	目標 H28	目標 R4
28.2	28.9	27.6	27.9	28.6	27.4	27.1	27.0	20.5	18.8

市域からの二酸化炭素排出量を毎年度の人口から算出。当時の目標値に達成することはできなかったが減少傾向にある。一人当たりの排出量は統計年鑑の人口を基に算出（各年度9月末現在）H28年度は86,522人



**柏崎市の環境政策③省エネ設備の普及**

市では、地域における省エネルギー普及の推進のため、蓄電池を併用した太陽光発電設備や地中熱を利用した設備などの購入補助を行っています。



●基本目標2 資源循環型のまちづくり

【マイバッグ運動に伴う実施率】(単位：%) (年度計)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H27
23	23	-	50.4	50.4	48.0	55.6	53.8	52.0	47.9	30

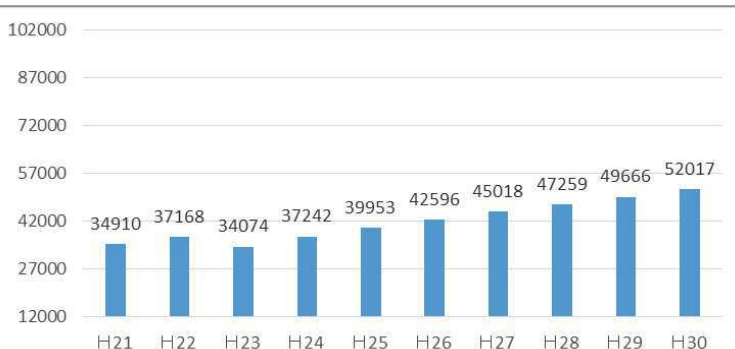
県環境にやさしい買い物運動実行委員会の調査結果を掲載（H26年度までは柏崎市の実績値、H27年度からは新潟県の実績値）。H21年度と比較するとマイバックの持参は浸透しており、スーパーなどにおいてもビニール袋の辞退につきポイントを付けるなど工夫されている。

【最終処分場埋め立て量】(単位：m<sup>3</sup>) (累計)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H27
34,910	37,168	34,074	37,242	39,953	42,596	45,018	47,259	49,666	52,017	56,453 以下

最終処分場の最大値は 102,256 m<sup>3</sup>である。H30年度時点では埋め立て率 50.86%

当初予定では埋め立て期間は H14年度～H28年度の 15年間であったが、ごみの減量化に伴う埋立物の減少等で大幅な延命が図られている。



【クリーンセンターからの排出ガスに含まれるダイオキシン類排出濃度】(単位：ng-TEQ/N m<sup>3</sup>)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標
A系炉	0.092	0.1	0.24	0.6	0.72	0.007	0.058	0.23	0.15	0.38	常時 1 以下
B系炉	0.25	0.17	0.14	0.45	0.61	0.032	0.14	0.39	0.56	0.46	

焼却時の適正な燃焼管理と排出ガスの除去設備の運転により、どちらの炉も全て基準値以下に抑えることができています。

【ごみの資源化率】（単位：％）（年度計）

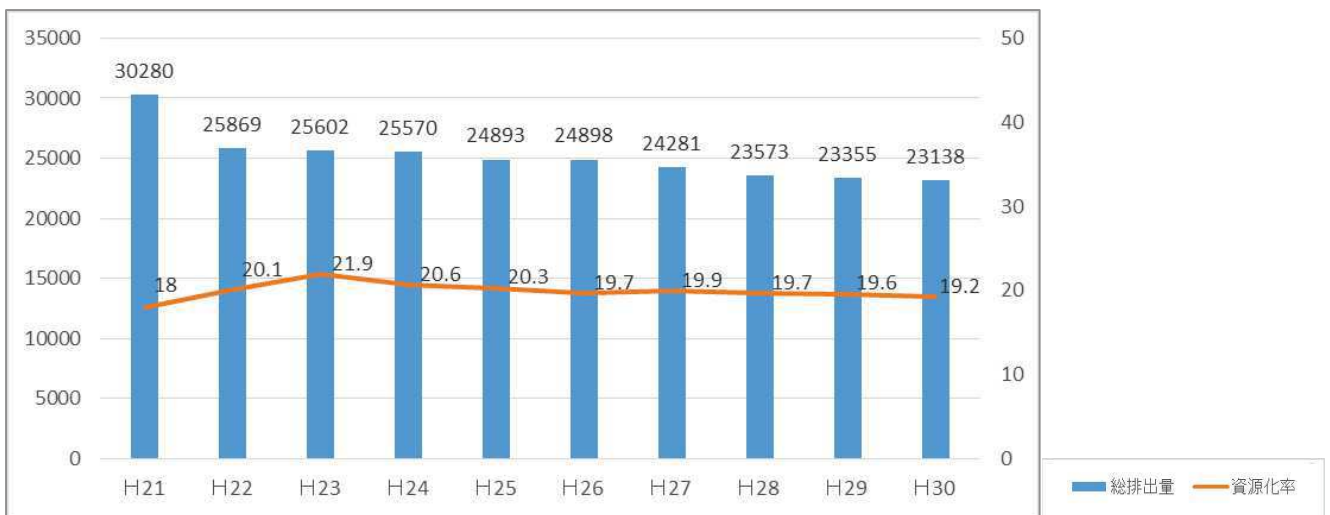
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H27
18	20.1	21.9	20.6	20.3	19.7	19.9	19.7	19.6	19.2	23.3

【ごみの総排出量】（単位：t）（年度計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H27
30,280	25,869	25,602	25,570	24,893	24,898	24,281	23,573	23,355	23,138	23,024

ごみの総排出量は家庭系ごみ、事業系ごみ共に減少傾向にある。H21 年度には指定ごみ袋による家庭ごみの有料化を実施した。資源化率は横ばい状態が続いている。横ばいの理由としては、資源物として出されるペットボトルやプラスチック包装容器の軽量化などが考えられる。H30 年度にはリサイクルセンターを西本町にも開設し、資源化率の向上を図っている。

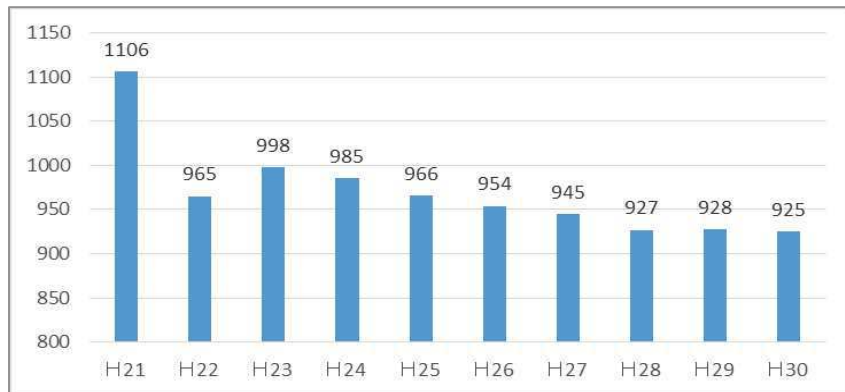
H30 年度リサイクルセンター来場者数 松波：166,918 人 西本町：12,402 人



【一人一日あたりごみの排出量】（単位：g）（年度計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H27
1,106	965	998	985	966	954	945	927	928	925	949

目標値は H27 年度に達成することができた。  
H21 年度の有料化以降、排出量は削減している。  
新潟県平均：1,017g



### ●基本目標3 人と自然が共生した潤いのあるまちづくり

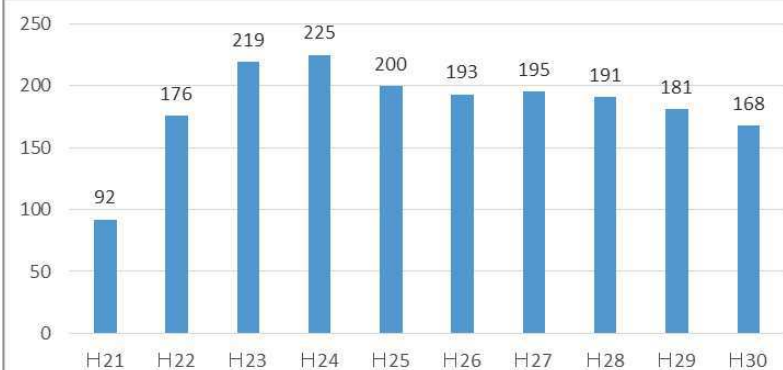
#### 【県認証制度農家数】（単位：件）（年度計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
92	176	219	225	200	193	195	191	181	168	250

化学肥料や化学農薬を5割以上低減して栽培した農作物を認証する、県の特別栽培農産物認証制度への取組農家数を掲載。取組面積は増加しているが、H24年度をピークに農家数は減少傾向にある。

【参考：取組面積】

H25：477ha→H30：522ha



#### 【一人あたり都市公園面積】（単位：㎡）（年度計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
16.1	16.1	16.1	16.1	16.2	16.1	16.1	16.4	16.4	16.6	16.2

都市計画区域内における公園の面積を人口で割った数。人口減により一人あたりの都市面積が増加している。新潟県平均は14.6㎡。

#### 【自然林の保全面積】（単位：ha）（年度計）

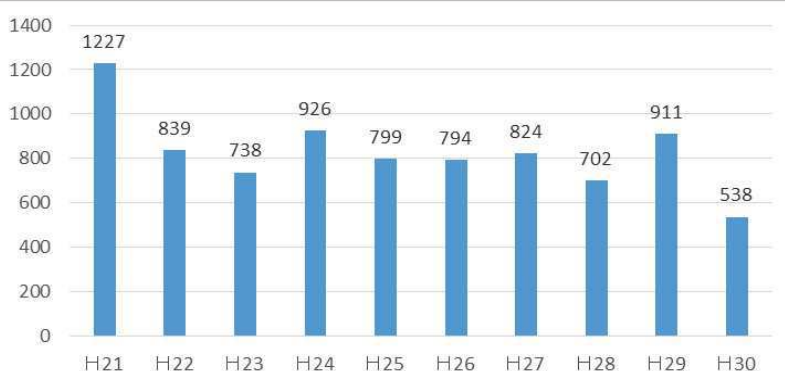
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
16,070	16,070	16,070	16,033	16,030	16,030	16,035	16,035	16,052	16,052	16,030

本市が所有する自然林の面積。県の指標の変更により年度の数値が増減する可能性があるが、大きく変動はしない。市では、森林保護について広報などで周知を行っている。

#### 【サケの帰る川づくり活動参加者数】（単位：人）（年度計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
1,227	839	738	926	799	794	824	702	911	538	800

森・川・海の密接な関係をサケの帰る川づくりを中心とした学習に訪れた人数を掲載。集団がけの流行や天候などによりその年で参加者に幅があるがおおむね毎年800人が参加している。H30年度はサケの遡上が例年に比べ遅く、見学希望者が減少した。



●基本目標4 環境汚染のない安心して暮らせるまちづくり

【各種苦情件数】(単位：件)

年度 種別	H21 (2019)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H30 目標
大気	5	3	1	1	12	8	9	2	5	6	13.3
悪臭	3	12	10	6	7	15	10	7	4	8	
水質	8	11	16	17	4	2	0	2	1	2	2.8
騒音	6	11	6	1	6	1	5	13	6	7	0
振動	0	5	1	2	2	1	0	0	1	1	
その他	9	9	4	7	5	3	0	0	0	3	-
合計	31	51	38	34	36	30	24	24	17	27	-



【汚水処理人口普及率】(単位：%) (年度計)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
96.8	97.1	97.4	97.6	97.7	97.9	98.1	98.2	98.3	98.4	98.0

河川等の公共用水域の水質を保全するため、家庭雑排水を浄化処理する合併浄化槽の補助金交付を行っている。普及率は98.4%となり目標を達成することができた。県内でも高い水準で推移している。

**【主要河川水質調査における BOD の環境基準達成】** (単位：地点) (年度計)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
24/24	14/24	16/24	9/24	9/24	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7

水質汚濁の監視を目的に水質調査を実施している。H25 年度までは主要河川は新潟県が、支流は参考値として新潟工科大学の協力により実施していたが、H26 年度からは支流の調査は終了し、県のみでの調査となっている。主要河川は BOD の基準が達成されている。

(参考) 水質評価基準

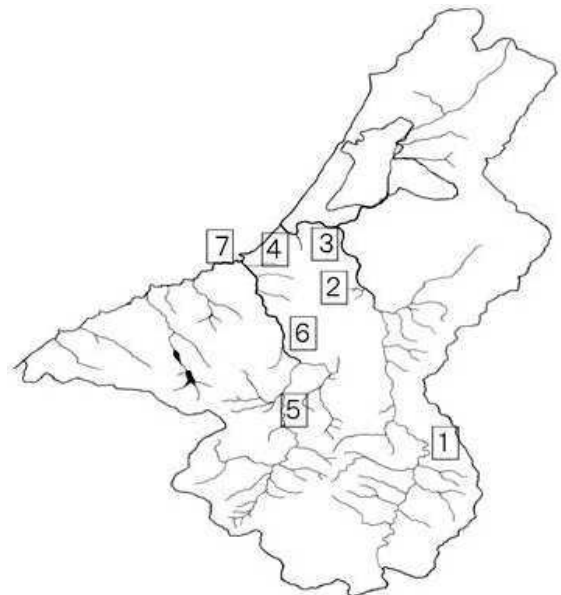
項目		pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
A	鯖石川：安田より上流	6.5 以上	7.5mg/L 以上	2mg/L 以下	25mg/L 以下	1,000 以下
	鵜川：新道より上流	8.5 以下				
B	鯖石川：安田～中田	6.5 以上	5 mg/L 以上	3mg/L 以下	25mg/L 以下	5,000 以下
	鵜川：新道～河口	8.5 以下				
C	鯖石川：中田～河口	6.5 以上 8.5 以下	5 mg/L 以上	5mg/L 以下	50mg/L 以下	—

(参考) 主要河川水質調査 新潟県調査分

No.	河川名	測定地点	類型	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
1	鯖石川	山根橋	A 類型	7.4	10.8	1.1	16.7	1.1×10 <sup>4</sup>
2		天保橋	B 類型	7.4	10.3	1.4	17.1	1.5×10 <sup>4</sup>
3		なごみ橋	C 類型	7.3	10.2	1.9	21.1	—
4		安政橋	C 類型	7.3	10.2	1.5	20.8	—
5	鵜川	野田大橋	A 類型	7.5	10.7	0.6	4.5	1.3×10 <sup>4</sup>
6		御幸橋	B 類型	7.4	10.6	0.9	7.0	3×10 <sup>4</sup>
7		八坂橋	B 類型	7.3	9.9	1.1	6.6	1.5×10 <sup>5</sup>

注) 調査結果は、年 12 回 (毎月) 測定の平均値。

注) 表の値は速報値であり、確定した値ではありません。





**【シーズン前での海水浴場の水質判定基準 AA の割合】**（単位：地点）（年度計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
9/11	7/11	8/11	6/11	6/11	6/11	6/11	11/11	11/11	7/11	11/11

市内の海水浴場 11 か所において、シーズン前の水質調査で AA の地点数を掲載している。海水浴場の水質は、天候など観測日の海のコンディションによるものが多い。R1 年度は 11/11 であった。

（参考）海水評価基準

区 分		COD	糞便性大腸菌群数	油膜の有無	透明度
適	水質 A A	2mg/L 以下 (湖沼は 3mg/L 以下)	不検出 (検出限界 2 個/100mL)	認められない	全透 (1m 以上)
	水質 A	2mg/L 以下 (湖沼は 3mg/L 以下)	100 個/100mL 以下	認められない	全透 (1m 以上)
可	水質 B	5mg/L 以下	400 個/100mL 以下	常時は認められない	1m 未満～ 50cm 以上
	水質 C	8mg/L 以下	1,000 個/100mL 以下	常時は認められない	1m 未満～ 50cm 以上
不 適		8mg/L 超	1,000 個/100mL 以上	常時認められる	50cm 未満

柏崎市の環境政策④環境教育プログラム

市内の小中学校に対して、地球温暖化対策を中心とした出前授業を行っています。  
一人一人ができる温暖化対策はどんなことがあるかを一緒に考えます。  
平成 30 (2018) 年度は 10 校 209 人に実施しました。



【環境騒音の環境基準の未達成地点】（単位：地点）（年度計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0

市内の騒音に係る環境基準の達成状況を把握するため、市内の13地点で騒音測定調査を実施している。  
H25年度以降基準を超える値の地点は0である。

（参考）環境騒音測定結果（上段：昼 下段：夜）

番号	測定値	環境基準	環境基準	測定値	番号	測定値	環境基準	環境基準	測定値
		法区域区分	(dB)	H30年度			法区域区分	(dB)	H30年度
1	宮場町 枇杷島コミセン	A	55	47	8	米山台1丁目 トップテリアタキ	B・幹線	70	67
		2	45	41			2	65	64
2	北園町 公営住宅集会所	A	55	44	9	桜木町 K宅	B	65	60
		2	45	42			2	60	50
3	新赤坂2丁目 K宅	A・幹線	70	68	10	三和町 柏崎総合庁舎	C	60	52
		1	65	65			4	50	43
4	松波2丁目 S宅	A・幹線	70	64	11	豊町 柏崎総合福祉センター	C	60	49
		2	65	57			4	50	41
5	西本町3丁目 喬柏園	B	55	43	12	鏡町 柏崎地域振興局	C・幹線	70	58
		2	45	35			3	65	52
6	中央町 柏崎市役所	B	55	47	13	諏訪町 ハタフォト	C・幹線	70	63
		2	45	41			3	65	55
7	両田尻 T宅	B幹線	70	61					
		2	65	52					

（参考）北陸自動車道の沿道騒音測定結果

調査地点			昼間		夜間	
環境基準	測定結果	地点名	環境基準	測定結果	環境基準	測定結果
Bに相当	未指定	南半田① H宅	65	52	60	50
		南半田② K宅		57		55
		下 方 T宅		52		49
		西山町北野 I宅		53		50
		藤 井 M宅		54		56
		下田尻 U宅		51		45
		茨 目 M宅		50		50
		向陽町 T宅		59		55
		米山町 T宅		56		54
C地域	3種	上田尻 Y宅	65	48	60	47

●基本目標5 市民参加・協働による環境に配慮したまちづくり

【環境学校プログラム年間参加者数】(単位:人)(年度計)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
11,823	14,692	12,065	13,995	15,262	14,997	11,113	11,776	12,387	11,484	13,800

柏崎・夢の森公園を中心に自然体験や環境エネルギー教育、ライフスタイル教育などを学ぶ環境学校体験プログラムへの参加者数を掲載。H24年度の目標値は8,500人であり、当時は目標を大きく上回った。H30年度の目標には届かなかったが、毎年度10,000人を超える参加がある。



【柏崎市環境・エネルギーネットワークの参加団体数】(単位:団体)(年度計)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
23	24	24	23	22	22	22	22	22	-	25

柏崎市環境・エネルギーネットワークとは、市民、事業者、民間団体及び市が環境に配慮した行動を積極的かつ継続的に実践することを目的に設立された会。H30年度7月末をもって終了した。

【ふれあい講座の実施回数及び参加者数】(単位:回、人)(年度計)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
回数	8	5	8	8	15	8	11	15	16	28	10
人数	276	182	690	812	1,139	760	1,115	1,155	1,399	1,194	1,000

ふれあい講座やエコ教室、環境教育プログラムなど市民や団体向けに行った環境講座の回数や人数を掲載した。

H30年度

ふれあい講座 3回 98人

エコ教室 15園 887人

環境教育プログラム 10校 209人



**【クリーンデー柏崎参加者数】**（単位：人）（年度計）

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標 H30
26,195	24,655	25,618	24,951	25,161	25,712	25,387	23,633	24,084	24,373	25,355

毎年 6 月の第一日曜日を  
中心に行われる全市一斉  
の清掃活動参加者数を掲  
載。参加町内会 293  
毎年度の目標値は 9 月末  
人口の 30%以上として設  
定している。  
H30 年度人口 84,516 人



**柏崎市の環境政策⑤緑のカーテン**

アサガオやゴーヤなど、つる性の植物を育てて  
自然のカーテンを作ります。夏場の室内の温度上  
昇を和らげる効果があります。

市内の保育園や小学校、事業者など、毎年 90  
件近くの方から参加いただいているプロジェクト  
です。



**柏崎市の環境政策⑥リサイクルセンター**

家庭から出た資源物は、資源物リサイクル  
センターに持ち込むことができ、毎年 17  
万人からご利用いただいています。

平成 30（2018）年度からは西本町にも  
リサイクルセンターを創設し、3R の一層  
の推進を図っています。



○基本目標ごとの実施した事業（平成 30（2018）年度）

基本目標 1：地球温暖化対策に取り組むまちづくりの実現に向けた取組

取組の方向性	市で当面実施する事業	内容
		H30（2018）年度の取組・実績
市民・事業者による温暖化対策の推進	温暖化対策啓発事業の推進	緑のカーテンプロジェクトの実施（個人・団体あわせて 88 件）
		ノーマイカーウィーク&エコドライブモニターを年 2 回実施 ノーマイカー：106 社、5,131 人が参加。CO2 削減量約 29 t エコドラモニター：43 社、266 人が参加。CO2 削減量約 817kg
		省エネモニターに 12 社が参加。一定期間のエネルギー使用量を計測し、昨年度との比較を行った。 全体で CO2 排出量を-21,415kg-CO <sub>2</sub> 削減した。
	環境学校プログラムの展開	柏崎・夢の森公園市民活動運営会議をはじめ市民ボランティアによる森づくり活動、環境農園活動及び環境学校プログラムの実施（H27 年度から指定管理者による管理代行）
	各種団体が行う環境学習、活動等との協働	ふれあい講座、保育園へのエコ教室、環境教育プログラムを実施し、保育園、学校などに普及啓発を行った。
		地域等が主催する環境イベント（潮風マラソン、柏崎マラソン、秋の収穫祭）への参加
	事業活動を通じた積極的な環境保全活動の評価・奨励	EC02 プロジェクトに 238 事業者が参加
二酸化炭素固定化を進める植樹活動等の推進	—	
適切な森林の管理・再生に向けた普及啓発	森林組合が行う地域座談会・組合報及び市ホームページで普及啓発を実施	
バイオマスタウンの推進	下水汚泥等（公共下水・農業集落排水・し尿）の利活用促進	年間発電量 115 万 1 千 Kwh、CO2 削減量約 602t-CO <sub>2</sub> 、稼働率 95.1%
		建設に係る県との協議を実施
	BDF の利用の推進	クリーンセンターの施設内車両に BDF を使用
	木質燃料の普及促進	木質ペレットストーブの普及啓発
	バイオエタノールの製造を調査・検討	H26 年度で国の補助事業が終了したため販売中止
	生ごみの資源化事業の促進	家庭用生ごみ共同堆肥化事業実施 3 町内会を支援
	再生可能なエネルギーの研究	公共施設における再エネ導入の可能性について協議
	バイオマス関連産業の育成	木質ペレット事業や BDF 事業を通じた、関連するバイオマス産業の育成
バイオマス関連設備の導入促進	公共施設におけるペレットストーブの導入促進	

取組の方向性	市で当面実施する事業	内容
		H30（2018）年度の取組・実績
バイオマスタウンの推進	稲わら・もみ殻などの利活用促進	市広報誌などにより稲わらの秋すき込み、籾殻くん炭の活用を指導・啓発
	有機農業や緑化事業への生ごみの活用の促進	市補助事業の循環型農業推進事業補助金制度の周知及び有機肥料の活用促進
新エネルギーの利活用の推進	自然エネルギー（太陽光、風力、雪氷など）についての有効活用検討・情報提供	公共施設等への再生可能エネルギー導入について検討 再生可能エネルギー導入施設でのエネルギー講話を実施（4回）
	公共施設への自然エネルギー設備の導入推進	北条、大洲、田尻、高田コミュニティセンターに太陽光発電設備設置工事を実施
		日吉小学校、総合体育館に地中熱利用空調設備を取り入れた工事を実施
	自然エネルギーを活用した民生機器の導入促進	太陽光発電設備、木質バイオマスストーブの補助などを通じて民生機器の導入を促進
	助成制度等の情報収集と周知	市広報・ホームページを活用し情報発信を実施
	電気自動車などのクリーンエネルギー自動車の普及	電気自動車等購入補助金の実施（補助件数11件）
	新エネルギー技術及び製品開発研究支援	—
省エネルギーの普及推進	市役所でのグリーン購入の推進	国の調達方針に準じて実施
	家庭への省エネ設備情報の提供	ホームページや広報などで補助金や環境取り組みの紹介を実施
	市民、事業者等への省エネ普及啓発	省エネ診断受診の推奨、うちエコ診断の実施
	公共施設における省エネ対策の推進	比角小学校普通教室棟大規模改修工事においてLED照明器具に更新。日吉小学校食堂棟の改築に併せて地中熱利用空調設備の導入による省エネ対策を実施
		太陽光発電・風力発電・自然換気システム・ペレットストーブ・薪ボイラー・バイオトイレ等による効率的利用の推進
	緑のカーテンプロジェクトの推進	緑のカーテンプロジェクトの実施（一般・事業所合計88件）
省エネルギー型建築物の導入促進	建築物の断熱性能の向上、複層ガラス、LED照明の採用による省エネ促進を実施	

取組の方向性	市で当面実施する事業	内容
		H30（2018）年度の取組・実績
自動車利用の見直し	バス路線体系の見直しによる生活交通の充実	バス路線運行費補助・運行補償による路線の維持
		既存路線の運行時刻・経路等の改善と効率化に向けたバス事業者との研究
		幹線・支線交通の接続による公共交通の再編・ネットワークの確立
		冬期間における高校生の安全、安心な路線バス通学の推進による、保護者のマイカー送迎の回避
		公共交通マップ・ポケット時刻表作成、バススタンプラリーやモビリティマネジメントによる利用促進策の実施
	鉄道利用の利便性向上のための検討	当面の列車運転本数・ダイヤの維持・増強（要望・調査研究・啓発宣伝・利用促進対策等の実施）。鉄道に慣れ親しみ、利用機会増加を目的とした企画列車の運行
		信越本線の利便性の維持・向上に向けた取組や研究実施
		日本海縦貫高速鉄道交通体系整備に向けた対応（要望・調査研究・啓発宣伝等）。上越・北陸新幹線直行特急実現期成同盟会と他の鉄道関係団体との連携
	エコドライブの普及促進	ノーマイカーウィークと併せてエコドライブモニターを実施
	全市一斉ノーマイカーデーの実施	ノーマイカーウィークの実施（5月と9月の2回実施）
	公用車への導入	公用車（電気自動車）の使用状況 アイミーブ5台、NV200 1台、リーフ1台 合計8台
	利用拡大に向けた普及促進	潮風マラソン、柏崎マラソン先導車にEV導入 電気自動車等購入補助金の実施（補助件数11件）

基本目標2：資源循環型のまちづくりの実現に向けた取組

取組の方向性	市で当面実施する事業	内容
		H30（2018）年度取組・実績
廃棄物の発生抑制・循環的利用の促進	3Rの普及啓発の推進	広報及びホームページでの普及啓発を実施
		小学校3・4年生社会科で浄水場や自然環境浄化センター、クリーンセンターを見学したり、小・中学校の地理・公民の授業において3R運動の重要性の理解を図ったりして、限られた資源の有効活用及び地球環境の保護活動推進の教育を実施
	生ごみ減量機器の購入費の補助	補助要綱の廃止に伴い事業終了。事業実施なし
	マイバック、簡易包装の促進	市民へ広報
	家庭ごみ処理の有料化及び事業系ごみ処理手数料の見直し	H30(2018)年度見直しなし
	公共施設におけるごみ減量化・リサイクルの推進	ごみ減量化・リサイクルの徹底を周知
		3R（リデュース・リユース・リサイクル）の実践
	不用品販売会、リサイクル事業等の活用	柏崎市消費者協会が実施する遊休品販売会を支援
	イベントでのリユース食器やマイ箸の積極的導入	—
	デポジット制度等の調査研究及び国・県への検討要請	—
	資源物を分別しやすい環境整備の推進	町内会資源物ステーション設置事業の補助金の交付（補助実績：2か所100,000円） 西本町資源物リサイクルセンターの拠点整備
	奨励金の交付等回収活動に対する支援	H24(2012)年度から奨励金制度廃止
	ごみの減量化、資源化に向けた販売店等との協働	市広報、ホームページでレジ袋削減及び過剰包装の削減を呼びかけ
	事業所に対する減量化・リサイクルの普及促進	市広報、ホームページでごみの減量、分別の徹底を呼び掛け促進



取組の方向性	市で当面実施する事業	内容
		H30（2018）年度の取組・実績
廃棄物の適正処理の推進	中間処理施設の維持	ごみ処理場は年2回、し尿処理場は年1回のオーバーホールを実施
	排出者の自己処理責任の徹底	事業系一般廃棄物の減量について、広報等で呼び掛けるとともに削減対策について検討
	処理困難物の処理・回収ルートの確保	処理・回収ルートの確保
	ダイオキシン類対策の推進	年1回のダイオキシン類測定を実施
	産業廃棄物の減量化、適正処理について処分業者と連携強化	新潟県及び廃棄物不法処理防止連絡協議会と連携した対応
不法投棄防止対策の推進	不法投棄防止の啓発	啓発看板の設置及び広報かしわざき等で啓発
	観光地・公園でのごみ持ち帰り等運動の展開	市ホームページでの啓発を継続
		ビーチクリーナーによる海岸清掃を実施
		海岸清掃ボランティアの呼び掛けによる意識の啓発
		海岸付近公共空地等の清掃を実施
	イベント開催時に来場者に対して、ゴミの持ち帰りの呼び掛け	
	ごみ散乱防止に向けた環境教育の継続	小学生や団体の施設見学の際に、3Rや環境美化について指導実施（20団体、741人）
	環境クリーン推進条例に基づく環境美化活動の推進	市民からの要請により、適宜指導を実施（15件）
啓発看板の設置	不法投棄発生場所へ再発防止のため啓発看板の設置、補修を継続実施	
不法投棄防止パトロールの継続	不法投棄防止美化協力員80名による月2回のパトロール実施及び回収作業の実施	
警察等関係機関との連携強化		

基本目標3：人と自然が共生した潤いのあるまちづくりの実現に向けた取組

取組の方向性	市で当面実施する事業	内容
		H30（2018）年度を取組・実績
豊かな自然環境の保全と活用	在来魚種の保護及び放流	内水面漁業資源増大のため、内水面漁協に種苗購入費の助成と放流を実施
	鳥獣保護事業等の実施	県の行う鳥獣保護事業への参加や市ホームページによる周知
	小・中学校における草花や樹木の栽培や、魚や昆虫、小鳥や小動物等の飼育	小学校では、生活科、理科、総合的な学習の時間や委員会活動等で草花の栽培や小動物等の飼育を実施 中学校では、総合的な学習の時間や委員会活動等で草花の栽培を実施
	自然観察会の実施、総合学習への講師の派遣	少年郷土探検教室の実施、海等をテーマとする総合学習への講師派遣等を実施
	自然体験を通じた環境教育	環境学校プログラムにおいて自然体験プログラムを実施（H27年度から指定管理者による管理代行）
	森林や農地の環境保全機能の向上	市・民有林の造林事業を促進し森林や農地の環境を保全
	天然林の継続観測	面積が広く月1回の巡視では、効果が得られないため廃止
	大沢ブナ林の保全管理の継続	地元の大沢地区へ管理委託（草刈等）の実施及び遊歩道整備
	適切な森林管理の促進	保育適期の把握により造林作業を計画的に実施
	休耕地での作付けを誘導	不作付地の改善計画が提出されている水田の現況を詳細に把握し、転作による水田活用を指導。なお、H30年度から国の補助事業が廃止されたため廃止
	グリーン・ツーリズム事業の展開	資源を活用するための研修会実施による農村環境の保全・向上
	地場農産物の生産と流通の拡大	園芸作物栽培の取組を奨励し、生産量の拡大を図った。
	学校給食で地場産農産物の積極的導入	地場産農産物の使用品目と使用量の増加のために関係機関と連絡会を5回実施 地場産農産物の使用品目の拡大及び使用量の増加に向け、関係機関連携会を実施し、月ごとの使用可能品目と使用可能量の情報を共有し適切な献立・発注を行った。

取組の方向性	市で当面実施する事業	内容
		H30(2018)年度の取組・実績
緑あふれる快適な環境づくり	都市公園・緑地の維持管理	都市公園・緑地の維持管理を実施
	街路樹整備の促進	—
	緑豊かな市街地の形成	—
	緑化推進団体への支援	—
	緑化意識の普及啓発	HPやEC02通信における緑のカーテン活動のPR
	緑化・美化活動の展開	緑のカーテンプロジェクトの展開
豊かな水環境の創造	「さけの森づくり」を通じた自然学習会	植樹活動を実施(サクラ10本、ケヤキ10本、ヤマモミジ2本)参加人数34人
	自然観察会の実施、総合学習への講師の派遣	少年郷土探検教室の実施、海等をテーマとする総合学習への講師派遣等
	海岸林の維持・保全	県営治山事業で海岸保安林の保育を実施、松くい虫防除事業の実施
	自然景観にも配慮した海岸整備の推進	新潟県が荒浜海岸において自然景観に配慮して海岸侵食対策事業で、海中に人工リーフの設置工事を実施
	養浜等による浜づくり・砂浜の保全	離岸堤の設置による海岸侵食対策と、漁港内浚渫土による荒浜漁港海岸の養浜を実施
	塩害、風害の緩和の検討	県営治山事業の継続実施
	小河川・排水路等の維持管理	小河川、排水路の維持管理を実施
	多自然護岸の導入	かご護岸により水際の植生や水生生物の生息空間を確保
	河川内の魚道や産卵場所等の確保	かご護岸のできる隙間や、そこに発生する水生植物で、魚類の生息域や産卵場所を確保
		鵜川及び鯖石川にウグイ産卵床整備(20㎡)を実施
自然型河川への改修・整備の推進	小河川の生態系を考慮した河川改修を実施	

基本目標4：環境汚染のない安心して暮らせるまちづくりの実現に向けた取組

取組の方向性	市で当面実施する事業	内容
		H30（2018）年度の取組・実績
大気汚染・悪臭の防止	工場・事業場などに対する規制・指導	主に野焼きによる苦情対応（3件）
	自己焼却（家庭ごみ・稲わら）焼却防止対策の指導・啓発	市広報誌や農業者説明会での啓発。市民からの稲わら・籾殻焼却の苦情通報に対し、直接指導を実施
		市広報等による啓発、市民からの苦情通報による直接指導を実施（14件）
	公用車への低公害車の導入	電気自動車：三菱アイミーブ5台、ハイブリッド車：トヨタエスティマ1台（市長車）、トヨタプリウス1台の計7台
	エコドライブの普及促進	EC02プロジェクト対象行動としてノーマイカーウイークの時期に合わせエコドライブモニターを実施
	全市一斉のノーマイカーデーの実施	ノーマイカーウイーク&エコドライブモニターを年2回実施
	事業活動に伴う悪臭防止について指導・啓発	苦情対応として現地調査、指導の実施（5件）
	畜産、堆肥関連施設の悪臭防止に対する指導・啓発	農政課と環境課において連携した指導・啓発の実施
	近隣住民に配慮した暮らしの啓発	苦情対応として現地調査、指導の実施（3件）
水・土壌・地盤環境の確保	公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽整備	市広報誌による公共下水道区域、農業集落排水区域の公共ますへの早期接続の啓発
		市広報誌、ホームページによる単独浄化槽から合併浄化槽への転換の周知 ホームページによる浄化槽設置整備補助金活用による合併浄化槽設置の周知（4件）
	貯水槽水道の衛生管理の啓発推進	市広報誌、ホームページによる貯水槽の清掃と水質検査の徹底の周知。清掃と水質検査の未実施世帯にDMの発送（111件）
	農薬等の適正使用・使用量削減への啓発・誘導	環境保全型農業推進による農薬使用量の削減 市広報誌や啓発資材（ポスターやチラシ）の活用による農薬等の適正使用・管理の周知
	河川及び海水浴場の水質調査	海水浴場の水質調査の実施。開設前の調査で、海水浴場11か所中、7か所の地点が評価基準で最高のAAとなり、水質Aが2か所、水質Bが2か所であった。
工場や事業場に対する監視	自主検査等での異常時には、新潟県関係機関に協力し、対応	

取組の方向性	市で当面実施する事業	内容
		H30（2018）年度の取組・実績
水・土壌・地盤環境の確保	農薬等の適正使用・使用量削減への啓発・誘導	定期巡回による安全確認。県が実施する水質調査への協力
	地下水使用の抑制の推進	市広報による地下水の節水協力の呼び掛け
	水準測量や地下水位観測の実施	水準測量は、隔年実施により H29 年度実施したため、なし
静かな環境の確保	幹線道路沿道などにおける環境騒音調査	測定による状況把握 調査した 3 区間において、全体の評価結果は昼夜とも基準値以下が 98.1%となった。
	北陸自動車道の騒音調査	測定による状況把握 測定した 10 か所中、全ての地点で昼夜とも環境基準を達成
	近隣騒音防止のための普及啓発	測定による状況把握 測定した 13 か所中、全ての地点で昼夜とも環境基準を達成
	深夜営業やカラオケなどによる騒音への指導	苦情発生時に随時指導を実施
	工場や事業場への監視・指導	届出の際に指導書を配布及び苦情発生時の指導の実施
	特定建設作業に伴う騒音・振動の監視・指導	届出の際に指導書を配布
災害時の環境保全対策の推進	アスベスト飛散防止、油類漏洩防止対策の推進	広報かしわざき及び HP で灯油漏れ防止の呼び掛け
	災害時の廃棄物処理、し尿処理の広域的連携の強化	—
	災害廃棄物の排出方法についての効果的周知	—

基本目標5：市民の参加・協働による環境に配慮したまちづくりの実現に向けた取組

取組の方向性	市で当面実施する事業	内容
		H30（2018）年度取組・実績
環境教育・環境学習の推進	動植物とのふれあいなどの体験活動	各教科等や特別活動の時間で飼育・栽培活動を行い、命の大切さや環境美化の重要性を学ぶ教育を実施
	地域の自然や環境についての学習	「子ども夢・感動・絆プロジェクト」とも絡めて、身近な地域の自然との触れ合いを行ったり、夢の森公園・こども自然王国・ゆうぎ等の施設を活用したりして、自然や環境についての理解を深め、主体的に関わる態度を育てる教育を実施
	資源物リサイクルセンターでの3Rについての学習	小学生や団体の施設見学の際に、3Rについて指導実施（20団体、741人）
	環境学校プログラムの展開	柏崎・夢の森公園を中核フィールドにおいて、自然体験、環境エネルギー教育、ライフスタイル教育といった3つの柱で環境体験プログラムを実施（H27年度から指定管理者による管理代行）
	各種団体が行う環境学習への支援	ふれあい講座やエコ教室、環境教育プログラムを開催した（全28回1,194人）
環境保全活動の推進	クリーンデー柏崎など美化活動の推進	クリーンデー柏崎の実施（293町内、24,373人が参加） 町内会、団体による地域美化活動（213町内・団体、18,843人） 町内会の清掃活動へのごみ収集実施 市内小中学校の、地域美化活動を支援（1校）
	イベントを通じた環境配慮行動の普及	EC02プロジェクトの実施
	地域と協働した環境保全活動の推進	
	エコアクション21など認証取得を含めた環境に配慮した事業活動の普及促進	エコアクション21認証取得支援セミナーの実施（H30年度は受講者なし）
	市民・事業者・市の情報共有手法の検討	市HPでの情報提供、EC02プロジェクト参加事業所に一斉メールで周知
柏崎市の環境、広報誌、ホームページなどの多様な手法による情報発信	「柏崎市の環境」（兼環境活動レポート）を作成、公表	